



special feature

専門ゼミを
徹底研究

econ. no.048

Hokkai-Gakuen University Faculty of Economics

～先輩、「ゼミ」について教えてください！～

1年生で基礎ゼミが終了し、2年生からは専門分野ごとに分かれた専門ゼミが始まります。ここからが、大学での学びの本番。まだ専門ゼミのことをなにも知らない1年生が、ゼミのあれこれについて3年生に聞いてみました。1年生が思い描く「ゼミ」は発見できたでしょうか。

※座談会は、換気や消毒などコロナ対策に配慮したうえで、撮影用に適宜マスクを外すなど実施しました。

[2023年6月7日に実施]

ゼミはどんなところで、何をするの？

司会（中野） ゼミではどんなことを調査・研究しているのか、教えてください。

佐藤 労働問題を扱う川村ゼミでは、まずワークルールについて学びます。また、学生のアルバイト実態を調査し「労働経済論」の授業の中で調査の中間報告を行います。

成田 宮入ゼミで「農業経済」について研究しています。地方の市町村を訪問する地域研修という科目では、農家やJA（農業協同組合）の方から聞き取り調査をし、その結果を報告会で発表します。今は卒業論文に向けて研究しています。

登藤 菊田ゼミはほかのゼミと比べると、ちょっと抽象的というか、労働や食料といった具体的な要素があまりなくて「社会学」という広い範囲の学問を扱っています。2年の前半では文献で社会学の歴史的な成り立ちを考え、後半は少人数のグループで気になる社会問題を学生へのアンケートや公的機関の文書を調べて研究し発表します。今は、ジェンダーについて議論を行っています。自分の意見を出して、その考えがどこから来ているのか根拠を持って話すことが必要なので、そういう意識を持つのもいいのかなと思います。

松原 市川ゼミで「日本経済史」の研究をしています。2年生で教科書をもとに2人1組でレジュメを書き発表、市川先生にさらにその内容について細かく教えてもらいます。3年からは文献を用いてレジュメを書き、その文献についてより深く学んでいきます。

司会（宮前） ゼミの雰囲気はどんな感じなんですか？

佐藤 2、3年合同のゼミで小グループの発表も合同です。横のつながりを築くのはちょっと時間がかかったんですが、みんな仲良くしたいという気持ちは強かったので、ゼミのみなさんでご飯に行くなどいい雰囲気です。

成田 自分が2年生のとき、上級生との関わり方が少し難しかったので、ゼミ長になってからちょっと頑張って2年生とにかく話しかけまくりました。同じ趣味の人の同士を紹介したりして、今の雰囲気はかなりいいと思います。

登藤 大体のゼミでは、ゼミに入る時の面接を対面で1対1ですが、自分のゼミはZoomでみんなの顔は知っていたから、最初から自然に話しかけられたかも。全体的にはいい関係を築けていると思います。

松原 ゼミで女子は私一人。まわりはみんな男子ですが、ちゃんと話しかけてくれます。仲がいいかという微妙ですけど(笑)。

先生との距離感や、ゼミの選び方は？

司会（中野） 大学の授業は、高校と違って先生と学生の距離が遠いと感じます。ゼミではどうなのか、教えてください。

佐藤 先生も交えて飲みに行くし、近いと思います。それに、川村先生は学生の主体性に重点を置いてサポートしてくれます。

成田 宮入先生はゼミ生への愛が強い。授業を休んだら、講義中の先生から電話がかかってきたことがあるくらい(笑)。地域研修*は2泊3日で行うんですけど、研修



が終わったあと、去年はコテージで2日連続でバーベキューをしたんです。宿泊して、先生も交えてワイワイやって距離が近くなるというのもあります。

登藤 高校と比べたら教室が大きいからだと思うけど、ゼミは小さな教室で行うので視覚的にも近い。ゼミの先生とは講義以外でも気軽に話さし格段に近い関係です。

成田 高校の担任の先生みたいなイメージですね。

松原 市川先生は、仲がいいということではないかもしれないけど、ゼミ生のことをちゃんと考えてくれています。最初の自己紹介のとき、学生それぞれの好きなものに対して興味を持ってきて「今後、進路についても一人一人と時間を作って話したいと思っている」と言ってくれました。ゼミ生のことをちゃんと考えてくれている感じがしています。ゼミの先生は距離が近くて相談もしやすいと思います。

司会（宮前） みなさんは、なぜ今の学科とゼミを選んだのですか？

佐藤 学科はゼミの配属によって変わる。このゼミに入りたいと思ったら、結果的に経済学科でした。ゼミの情報を集めて絞った中で、自分に役立つ学習をしたと思いました。労働問題についてなにも知らなかったんで、一番自分に役立つ学びを得たいと思って選びました。

成田 そんな真面目な理由で選んだと知って恥ずかしい(笑)。僕なんてまず、地域研修が楽しいという情報を得て「地域経済だ!」と思って。

登藤 大学生になってまだ半分も経ってないのに、どうして2年生で専門分野を決めなければならないんだろうと思っていたの



ゼミの仲間に助言をもらう



地域研修報告会はゼミの仲間と発表



ゼミでは先生と距離が近い

ECON. STUDENTS



ゼミでの研究発表

緊張するゼミでの研究発表

ゼミの研究を労働経済論の講義で発表

地域研修でバーベキューを楽しむ！

Everyday

ECON. STUDENTS



●司会／1年生
歌代基礎ゼミ
中野 悠人さん



●司会／1年生
歌代基礎ゼミ
宮前 柊花さん



●宮入ゼミ3年
地域経済学科
成田 陽斗さん



●川村ゼミ3年
経済学科
佐藤 愛華さん



●市川ゼミ3年
経済学科
松原 遥香さん



●菊田ゼミ3年
経済学科
登藤 琉晟さん

で、いつでも自分の好きな方向へシフトチェンジできる学問がいいと考えました。社会問題だったらいろんな軸があるから無限に広げられると思ったんです。

松原 私は1年の後半の時点で学びたいことがとくになかったんですが、高校の日本史の授業でちょっと興味を持った日本の経済史のゼミにしました。

成田 講義概要、シラバス*にゼミの先生がどんな研究をしているか全部載っている。自分は食べることが大好きだし、宮入先生のシラバスを読んで「農業経済しかない」と入ったら、議論が盛んで熱のこもったガチのゼミだった。大変だけどめちゃめちゃ面白い。実は、暇なときにシラバスを読む趣味があって(笑)。

全員 (笑)

登藤 興味のある先生の授業をちょっと覗いてみるのもいいですね。

成田 とにかく情報戦なので、情報をかき集めて「面白そうだな」「ちょっとかじってみようかな」というのでいいと思う。

佐藤 面接に受からないと入れないゼミもあって、研究室訪問*したほうが優先的に受け入れてもらえます。ただ、人気のゼミは倍率が高い。前年度の倍率は資料として公開されているので参考になります。

ゼミで学ぶ楽しさ、大学の楽しさとは？

司会(宮前) ゼミで調査や研究を行う中で楽しいこと、やりがいを感じることは？

佐藤 ワークルールについて学ぶことです。たとえば、ブラック企業に入ってしまった

たときも、自分の行動の選択肢を広げることができるので学べてよかった。あと、私は質疑応答での質問力がなかったんですが、よく質問する人から刺激を受けて自分の質問力も上がってきた。グループ発表ではプレゼン能力や資料の見せ方も身についたと思います。

成田 専門ゼミで2年生の発表を聞いていると、自分が2年生だったときと比べて「こういう考え方があるんだ」「こういうまとめ方をするんだ」「こういう図の作り方を教えてほしいな」と、どういうレジュメを作ってきたのか見ていておもしろい。レジュメを書く中で文献の引用の仕方など、社会に出てからも必要なスキルを身につけられる。基礎ゼミを卒業して専門ゼミとなったときに、たくさんのレジュメを書くので、自分が社会に出たときにつながっていくんだな、と思いながらやると、めちゃめちゃやりがいを感じますね。

登藤 授業と違って、ゼミのレポートを完成させるまでには多くの失敗やツライことがあるんです。アンケートを取るとき嫌な顔をされたり、膨大なページ数の論文を複数読むことに苦戦したけれど、最終的にまとめ終わったときにものすごく達成感があります。また、グループワークではただ意見

見を出すんじゃなくて、一人一人の役割を意識して議論するのが大事だということも学びました。

松原 ゼミでは授業以上の細かい知識を得られるのが面白い。自分が学びたいことを学んでいるのがうれしいです。



司会(宮前) 最後に、大学への進学を考えている高校生に一言、お願いします。

成田 大学生は高校生と違って全部自分の意思で選択できるし、本当に楽しい！高校で失敗しちゃったり、後悔したり、これできなかったな、ということがあっても、そんなのどうでもよくなるくらい大学ってほんとに楽しいところ。大学でしか得られないものも絶対あるので、自由になってからの生活は本当に大事だなと、今すごく感じています。



特集座談会の様子

登藤 大学では研究の中で自分を発見できます。大学に入ってからいろいろな取り組みや研究があるので、そういったところに自分の発見や、こんなやりたいことがあったとか、いいところがあったとか、逆に

に自分はこういうことができないんだな、という発見にもつながる。受験の可否だけを気にしないで大学生活を考えてほしい。

佐藤 やりたいことはもちろん、大学にはいろんな地域の人が集まるので人脈の広がりを楽しんでほしいです。

松原 友達作ったほうがいい。いろんな人と繋がって、いろんな人と関わることが最初にできたら、4年間過ごしやすくなるんじゃないかな。怖がらずに、自分から行動したほうが楽しい大学生活になると思います。

司会 先輩方の話を参考にゼミを選びたいと思います。ありがとうございました！



写真上は川村ゼミ集合写真

***地域研修** 地域経済学科ゼミの名物科目。おもに地方を訪問し、泊りがけでフィールドワーク(現地調査)を行う。地域づくりの諸活動を直接見聞・体験することを通して、現実の生きた地域経済・社会を学ぶ。

***研究室訪問** 2年以降の専門ゼミを決める際、先生の研究室を訪問してどのような研究を行っているのか直接うかがう。

***シラバス** 学生に公開される講義概要。各教員の授業計画や研究テーマなどが記載されている。



写真上は毎年12月に行われる地域研修報告会。写真下は地域研修のフィールドワークの様子



写真左から、成田 陽斗さん、松原 遥香さん、宮前 柊花さん、中野 悠人さん、佐藤 愛華さん、登藤 琉晟さん

NEWS 1

2022 年度江川賞授賞式

2022 年度4年生4名に江川賞！ 2023 年 3 月 7 日

この春に卒業した学生から提出された41本の卒業研究論文には、北海道の紙・パルプ産業、コーヒーの流通構造と小規模農家の貧困問題、トンネルの存在価値と地域への影響、平均値推測ゲームと推論の変化、清酒製造業界の市場構造、「知床」を題材にした環境教育、など多様な論点がみられ、経済学部への深さが窺えました。これらのなかで内容が秀でていと評価された4名にたいし、去る3月7日に江川賞が授賞されました。この4名のうち内容が特に秀でていと評価され、最優秀論文と認定されたのが黒田啓輔「我が国における出生率低下の要因分析—都道府県別データを用いた重回帰分析の結果をもとにして—」です。石井健経済学部長の評言によ

ると、この論文は出生率向上に向けた政策提言を行うために、出生率の変化をもたす諸要因を重回帰分析によって特定しようとするものです。なお、最優秀論文についてはその全文が、それ以外の論文についてはその要旨が、卒業研究論文要旨集に記載されています。

卒業研究は、経済学部での勉強および研究の集大成ともいえます。学生のみなさんが、おのおのの関心や問題意識をもとに、貪欲に取り組むことが大いに期待されます。(卒業研究委員 宇土)



写真上、石井健経済学部長から最優秀論文の表彰を受ける黒田啓輔さん。左は卒業研究論文要旨集



卒業研究論文優秀論文「第4回江川賞」授賞式(3月7日)。写真左から石井健経済学部長、越後修教授、表彰された黒田啓輔さん、桑折大哉さんと濱田武士教授。卒業研究論文要旨集は右 URL 掲載 <https://econ.hgu.jp/publication>

デパートで冷食を

2022年8月、銀座の老舗百貨店である松屋銀座に冷凍食品コーナーが開設されました。現在の感覚では、スーパーで安価に売られている冷凍食品と高級な商品を扱うデパートとはイメージが合わないかもしれません。しかし、太平洋戦争後の一時期までは、デパートは市販用冷凍食品の主要な販売先の一つでした。

スーパーでの市販用冷凍食品の扱いが増えたのは高度成長期以降です。スーパーの大量仕入れ・大量販売の方式と温度管理を徹底さえすれば長期の保存が可能な冷凍食品の特性がマッチしていたため、スーパーの成長と共に市販用冷凍食品の取り扱いも増加していったのです。スーパーの発展に加え、フリーザー付冷蔵庫や電子レンジの普及、女性の社会進出や個食化の進展を背景に、市販用冷凍食品の需要は拡大を続けていきました。

一方、業務用冷凍食品については、1964年の東京オリンピック選手村での食事に冷凍食品が採用されたことをきっかけに評価が高まったことや、ファミリーレストランチェーンやお弁当チェーンの拡大などにより、需要が拡大していきました。

2000年代に入り、食の安全性が問題視される中、冷凍餃子中毒事件の影響で市販用冷凍食品の需要は一時的に停滞します。しかし、東日本大震災以後、その保存性が評価され、その需要は再度高まりました。さらに、新型コロナウイルス禍の影響による、巣ごもり需要の増加や、飲食店の進出などにより、近年、市販用冷凍食品の種

類や販売先はますます拡大しています。

このように、冷凍食品は戦後の日本の経済・社会状況を色濃く反映しながら私たちの生活に寄り添い続けているのです。



東京銀座のデパート松屋の冷凍食品売り場 2022年12月

photo i.sasaki

NEWS 2

基礎ゼミナール合同ゼミ開催

テーマ「私の研究」「新聞を読む」「図書館の使い方」「学科・コース選択に関する説明」など

初年次教育の場として位置づけられる基礎ゼミナールは、教員1人に学生13～14人(2023年度実績)の構成で運営されています。

アカデミック・スキルと呼ばれる、大学で学んでいく上での各種の技法——例えば、ノートの取り方に始まり、自分の関心あるテーマ(研究テーマ)を見つけ・育てて、レジュメやレポートを作成し、人前で発表をこなせるようになるまでの様々な力を身に付けてもらうことが課題です。同時に、基礎ゼミは学生たちにとっての「居場

所」でもあります。高校までと違いクラスが大学にはありませんから、ここが拠点の一つになります。

今年度は、同じ曜日に開催されている基礎ゼミ同士の交流にも力を入れています。さっそく、新聞の読み方や図書館の使い方を学んだり、晴れた日にはドッジビー(フリスビーを使ったドッジボール)の対抗戦で盛り上がってみたり。年末にはプレゼン大会が控えています。充実した1年を過ごしてもらいたいものです。(川村)



写真①、② 1部火曜日合同基礎ゼミ「新聞を読む」の様子、写真③、④ ゼミ対抗戦のドッジビー





研究室の窓から

キューバ野球“研”(?)

野球大国の社会主義国キューバと日ハム、マルチネス捕手の場合

2023年4月から北海道日本ハムファイターズで活躍しているアリエル・マルチネス選手をご存じですか？中日ドラゴンズから移籍してきた、キューバ出身の捕手(背番号2)です。キューバは野球大国として有名ですが、同時に社会主義国としても知られています。「A.マルチネス選手も亡命してきたのか」と思う人も多いでしょう。しかし、A.マルチネス選手はキューバ野球連盟(FCB)を通じて日本の球団と契約を交わし、外国人選手としてプレーをしていて、ガールフレンドと一緒に日本で生活をしています。「キューバ人選手＝亡

命者」というイメージの冷戦時代とは、大きく変化していると言えます。

独自の社会主義路線

1990年代、ソ連など社会主義圏の崩壊後、キューバは独自の社会主義路線「国民を誰一人見捨てない」のもと、市場経済化を模索してきました。社会主義路線を維持するという意味では似ていても、市場原理を積極的に受け入れていく中国「改革開放」やベトナム「ドイモイ政策」とは大きく異なり、キューバ社会主義の市場経済化の歩みは遅々としたものでした。大きな転換点を迎えたのは、2011年に採択された「経済社会政策方針」で、個人事業や協同組合事業、農作物自由市場などの市場経済政策が漸次的に認められたことによります。流動的な外国資本誘致や巨大な金融投資による競争原理の加速ではなく、国民の日常生活から少しずつ市場を取り入れていく姿勢は、「急がず、しかし止まらず」というスローガンにあるように、とてもユニークです。その中の一つとして挙げられるのが、



右写真は、キューバクラシックカー赤

平野 研

ひらの けん

経済学部教授

<略歴>

北海道大学経済学部卒業
北海道大学大学院経済学研究科修士課程終了
北海道大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学

- 専門はラテンアメリカ経済、世界経済論
- 研究テーマは世界システムの変遷と発展途上国の現状

主な業績:「ブラジル・アルフェナスでのフェアトレードタウン運動の実態と課題」(北海学園大学経済論集)ほか
社会活動:フェアトレードタウン認定委員(フェアトレード・タウン・ジャパン)、キューバ映画祭実行委員長
学会活動:経済理論学会、国際開発学会、ラテン・アメリカ学会、ラテン・アメリカ政経学会他

学生時代のサークルでの経験が現在の「働く楽しさ」につながっている。

031 OB 訪問 働きマン

株式会社マイナビ北海道支社
就職情報事業本部 北海道営業統括部
北海道営業1部営業3課 主任

安藤 大貴さん

あんどう ひろき

●サークルのメンバー募集から、人材業界に興味

小学生の頃から硬式テニスを続け、大学時代もテニスサークルに所属し、2年次でサークルの代表になりました。複数の大学からメンバーが参加する団体ですが、その頃は人数が減っていて、存続の危機に直面していました。そこで同期に役目をふりわけ、新入生獲得のためにいろいろなアクションを起こしました。ピラ配りはもちろん、ウェブサイトやSNSで情報を発信し、説明会も開催しました。また、サークルに入ってくれたメンバーがみんな居心地良く、ずっと残ってくれるような運営を心がけました。その結果、当初10人くらいだったメンバーは70人に達し、大会の順位もどんどん上がり、サークルは現在も存続しています。

このときに「良い人材」を集めることや、その人材が「活躍する場」をつくることの大切さを実感し、企業と働く人をつなぐ「人材業界」に興味を持つようになりました。



オフィスの会議室で



大学時代、板垣ゼミ集合写真(2019卒業アルバムより)



写真は左から、マレコン通りの野球少年親子2点。キューバ市場野菜にて、キューバマンゴーのおいしい季節2点

「海外渡航の自由化」で、スポーツ選手の海外でのプロ契約が進んでいくのもこの頃からです。

それまでは、政府派遣や特別許可がなければ海外渡航は難しかったのですが、現在では、一定の条件以外の人には、ほぼ自由に海外渡航ができます。「一定の条件」には、医学部を卒業して国家機関で働く特定期間の医師（キューバでは医学部も授業料無償）や、兵役期間の学生などが含まれます。野球選手のうち、「セリエ・ナショナル・デ・ベイスボル」出場球団に所属する選手は、FCBと契約しているため、移籍契約締結後でなければ海外渡航できません。また、「ほぼ自由」という中には、「2年に1度帰国し、国籍を維持するための書類提出と手数料支払い」という制約があります。さらにプロ野球選手には、海外の球団を移籍する場合にも契約金の一定額をFCBへ納入する義務が生じます。このような海外渡航の自由化は、「亡命」を減らすだけでなく、「出稼ぎ」として国の外貨獲得手段の一つとなってきました。キューバ人は教

育水準が高く（スポーツや語学、医療技術など）、ヨーロッパ諸国を中心に世界中に活躍の場を広げてきました。

■ 中日、ロドリゲス投手の場合

ところが、A.マルティネス選手が中日を離れた3月、同じく中日のキューバ人選手ジャリエル・ロドリゲス投手（最速161km/h）が米国メジャー球団（MLB）との契約を模索して「亡命」しました。「出稼ぎ」ではなく「亡命」を選択した理由の一つに、米国からの経済封鎖があると考えられます。2019年MLBとFCBとの連名発表で、MLB球団との契約の道が開けたように見えました。しかし残念ながら、当時のトランプ大統領の排他的政策によって頓挫してしまいました。米国は1962年キューバ危機以降、キューバに対して経済封鎖を継続しています。冷戦体制終焉後、外交的な重要性は低くなってきていますが、米国内の政治パフォーマンスとして、「強気の姿勢を示すためにはキューバに圧力」という政策がお約束の一つとなっているよ

うです。ロドリゲス選手が選手生命のピークを、レベルも契約金も高いMLBで発揮したいと思うのはある意味当然です。しかし、FCBも窓口として中日と契約している以上、違約金などの賠償金（推定1,000万ドル）請求をするのも、市場経済においては必然的です。優秀な人材が政治の軋轢の中で活躍の機会を失うことが無いよう、願うばかりです。

■ 「国民を誰一人見捨てない」を目指して

少なくとも、「亡命＝キューバ社会主義の独裁」というイメージは今後、大きく変わっていく可能性があります。あまり知られていませんが、キューバ国家主席は「国家評議会議長」から「大統領」に代わり、本格的に多党制による議会制民主主義が議論されています。キューバは相変わらず、「急がず、しかし止まらず」「国民を誰一人見捨てない」社会を目指し続けています。A.マルティネス選手がエスコン・ワールドに登場した時、応援に一層熱がこもるかもしれませんね。

●さまざまな価値観にふれて自分を知る

3年次の夏休みに5日間、人材業界のリーディングカンパニーであり、影響力が大きいと感じていた株式会社マイナビのインターンシップに参加しました。そこで、グループワークで一つのイベントを企画し、優勝したグループは実際に社員とその企画を運営する、という課題がありました。僕たちは大学1・2年生向けの就活イベントを企画して優勝し、インターンシップ後も頻繁に社員の方々と連絡を取り——残念ながらイベントの集客率は良くありませんでしたが——たくさんの先輩と話すことができました。

社内には北海学園大学OB・OGが多くいましたが、出身校に関係なく、いろいろな人に会って話を聞き、多様な価値観に触れることで、「自分は何が好きなのか」「どんな仕事がしたいのか」という自己理解を深めることができました。会社の雰囲気や仕事内容がわかるにつれて「ここで働きたい!」という気持ちが強くなり、最終的に入社につながりました。

●学生時代の経験は、働くことにつながっている

現在の仕事は、企業の新卒採用を支援する営業職です。それぞれの企業の状況に合わせて、どうやったら良い人材を採用できるか、サイトや企業説明会、外部広告などの手段を使って複合的に提案する「コンサルティング営業」がメインとなります。企業の根本は人材ですから、それを構築するお手伝いをする仕事は大きなやりがいであり、達成感もひとしおです。

お客様との付き合いは長くなる場合がほとんどで、「去年採用された方はその後どうですか?」と聞いて、課題がある場合はそれを

解決する研修やマネジメント方法などを提案します。その人材がどうしたら一番活躍できるか、そこまでフォローアップするのが僕たちの仕事です。そう考えると、ここでもサークルでの経験が生きているのかなと感じます。

就活中の学生さんと話すと、「学生時代にがんばったことは何もない」という人が非常に多いですが、そんなことはないと思います。学部単位をちゃんと取り終えたこともそうだし、アルバイトや部活、サークルでの経験も全部ががんばったことですね。僕自身は経済学部では、時事経済を学ぶ板垣先生のゼミに入り、日本にはどんな問題があるのかを考え、興味のある話題を掘り下げて討論するのもすごく面白かったです。

後輩の皆さんには、どんなことも真剣に向き合ったことは大事な経験になるし、そのなかから自分を知ることができる、と伝えたいです。それがその後の「働く楽しさ」に直結するので、ぜひいろいろな経験をしてたくさんの人と出会い、多くの価値観に触れてほしいと思います。



●1997年生まれ、札幌丘珠高校出身。2019年3月に本学経済学部経済学科を卒業。株式会社マイナビに入社して現在の部署へ。2023年4月から主任となる。

NEWS 3

食糧支援第9回・追加支援開催報告

2022年12月18日・2023年1月30日

2022年12月18日に第9回食糧支援が、また翌年1月30日には、残っていた食糧の追加支援が行われました。新型コロナウイルス感染症が広がる中で、2020年12月に第1回食糧支援が教職員有志によって始められ、その後、学生自治会や生協学生組織など多くの学生が運営に参加するなど全学的な取り組みとして行われてきました。

2023年度春には大学同窓会の支援を受けた「100円満腹丼」が

生協食堂で提供されました（期間限定）。学生たちへの食糧支援は、これまでの食料品の直接配付からやや形態を変えながらも継続しています。

食糧支援にあたっては、教職員・学生の皆さま、大学同窓会や大学生協・コープさっぽろ、大学に関わりのある企業や協定を結んでいる自治体からも多くの支援を頂きました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。（佐藤 信）



写真左は同窓会の支援で提供された「100円満腹丼」。他は、毎回の食糧支援会場となる北海学園生協食堂で準備を行う学生運営スタッフの皆さん

NEWS 4

2022年度就職状況

コロナ禍の状況が和らぐ中で、企業や官公庁などの採用意欲が高まる

2022年度経済学部卒業生の内定率は、1部では経済学科93%、地域経済学科90%、2部では経済学科84%、地域経済学科86%で、前年に比べると、2部地域経済学科で8ポイント増加し、その他では、ほぼ同水準でした。

コロナ禍の状況が和らぐ中で、企業や官公庁などの採用意欲も高まっていたようなので、就活生にとって「有利な」売り手市場であったと思われます。しかし、それは積極的に就職活動を実行できた学生にとっては「有利」に働くかもしれませんが、消極的であれば当然、内定を獲得するのに苦労します。積極的な学生は、本学のキャリア支援センターが提供する様々なガイダンス、公務員講座、業界研究会、企業説明会、インターンシッププログラムなどに参加し、個別

の進路相談や模擬面接を活用していることが多いです。このような積極的な努力とアクションによって、業界や志望する企業の知識を増やし、面接を突破して、複数の内定獲得につなげています。

（水野谷）



写真左は2月に行われた学内業界研究会。写真右は3月に行われた学内会社説明会



↓ 主な就職先 [1・2部経済学部合計]

[2022年度卒業生・1部・2部経済学部] 2023年5月1日現在（下表、右円グラフ同）

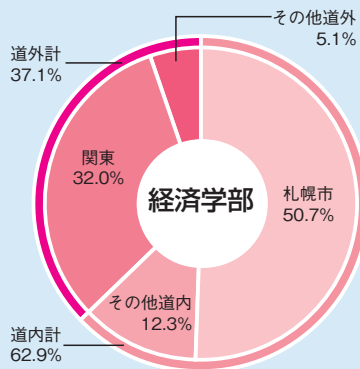
企業名	人数	企業名	人数
市町村（札幌市を除く）	21	株式会社つうけんアドバンスシステムズ	3
北海道職員（一般行政）	15	株式会社ネクステージ	3
国家公務員一般職	14	株式会社マイナビ	3
イオン北海道株式会社	6	三井不動産リアルティ札幌株式会社	3
株式会社北海道銀行（ほくほくフィナンシャルグループ）	6	北海道警察	3
札幌市役所（一般事務）	6	北海道信用金庫	3
株式会社北洋銀行	5	北海道労働金庫	3
ホクレン農業協同組合連合会	3	明治安田生命保険相互会社	3
株式会社クワザワ	3		

↓ 公務員試験合格状況

名称	人数	名称	人数
国家公務員一般職	18	北海道警察	7
国税専門官	8	警視庁	1
裁判所職員一般職	5	札幌市役所 一般事務	7
自衛隊一般曹候補生	1	札幌市役所 消防	1
北海道職員 一般行政	25	その他市町村	28
北海道職員 警察行政	3	国立大学等法人職員	3
北海道職員 教育行政	3	教員	3
		総計	113

↓ 本社所在地別就職状況

*割合は四捨五入による



↓ 業種別就職状況

*割合は四捨五入による

